

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
330006	X-21-B-2-330006	2	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	2年
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	2年
現代中国論	區 建英			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		
授業目的							
1949年中華人民共和国は建国以来、国民経済の建設と民主化を進める上で、曲折な路を辿ってきました。冷戦時代には米ソの間に挟まれ、国際的の反覇権闘争と国内の民主化・経済建設とがジレンマに陥りました。冷戦終結に向かって努力する中で、国内の改革開放を始め、全方位外交を展開し、日本ないし東アジア諸国をはじめ世界のほぼすべての地域と関係改善を進めました。また経済のグローバル化において世界第二経済体へと成長し、それに伴って中米関係に摩擦も起こっています。この講義は中華人民共和国が辿って来た道を、世界の変化という国際的視野において語ります。授業は下記の計画で進めますが、授業の状況によって若干変更する場合があります。							
各回の授業内容							
第1回 【授】 中華人民共和国に関する基礎的知識 【前・後】 事前になし。事後は、授業で配布された資料をよく読んで復習する。4時間必要。				第9回 【授】 経済成長——第一の大局としての東部発展 【前・後】 事前は、中国の郷鎮企業に関する図書調べて読んでみる。事後は、授業で配布された資料をよく読んで復習する。4時間必要。			
第2回 【授】 建国初期の国際環境—冷戦構造 【前・後】 事前は、冷戦に関する図書を調べて読んでおく。事後は、授業で配布された資料をよく読んで復習すること。4時間必要。				第10回 【授】 経済成長——第二の大局としての西部開発 【前・後】 事前になし。中国の西部開発に関する図書を調べて読んでおく。事後は、授業で配布された資料をよく読んで復習する。4時間必要。			
第3回 【授】 冷戦下の中国外交——米国による封じ込めとソ連による覇権的抑圧 【前・後】 事前になし。事後は、授業で配布された資料をよく読んで復習する。4時間必要。				第11回 【授】 格差問題と改善の模索——「扶貧」「三農問題」への取り組み 【前・後】 事前になし。事後は、授業で配布された資料をよく読んで復習する。4時間必要。			
第4回 【授】 国民経済建設の屈折と文化大革命 【前・後】 事前になし。事後は、授業で配布された資料をよく読んで復習する。4時間必要。				第12回 【授】 科学技術の急速発展 【前・後】 事前になし。事後は、授業で配布された資料をよく読んで復習する。4時間必要。			
第5回 【授】 冷戦終結と改革開放 【前・後】 事前は、中国の改革開放に関する図書を調べて読んでみる。事後は、授業で配布された資料をよく読んで復習すること。4時間必要。				第13回 【授】 グローバル化時代の新外交 【前・後】 事前になし。事後は、授業で配布された資料をよく読んで復習する。4時間必要。			
第6回 【授】 経済改革に伴う民主化運動 【前・後】 事前になし。事後は、授業で配布された資料をよく読んで復習する。4時間必要。				第14回 【授】 新しい国際協力「一帯一路」 【前・後】 事前になし。事後は、授業で配布された資料をよく読んで復習する。4時間必要。			
第7回 【授】 「過程としての民主化」と公民の成長 【前・後】 事前になし。事後は、授業で配布された資料をよく読んで復習する。4時間必要。				第15回 【授】 米中貿易摩擦と世界経済構造の大転換 【前・後】 事前は、米中貿易戦に関する資料を調べて読む。事後は、授業で配布された資料をよく読んで復習する。4時間必要。			
第8回 【授】 冷戦終結に伴う全方位外交、とくに日中関係の改善 【前・後】 事前は、日中関係とポスト冷戦に関する図書を調べて読んでみる。事後は、授業で配布された資料をよく読んで復習する。4時間必要。				第16回 【授】 定期試験 【前・後】 事前は、総合復習。4時間必要。			
成績評価方法							
期末試験の点数（70%）、毎回の授業に提出するコメント（感想、質問等）（20%）、授業参加状況（10%）を合わせて総合的に評価します。学生諸君の毎度のコメントに対し、授業で回答や評論をします。							
教科書・参考書							
手作りの授業資料を配布。 必要な参考書は授業時に知らせる							
受講に当たっての留意事項							
講義のメモを取りながらよく思考し、コメントを書くこと。レジュメをよく復習し、授業資料や参考書をよく読んで理解を深めること。							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性						アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
×							×
学習到達目標							
中華人民共和国の歩みを把握し、現代中国の様々な事象を歴史、伝統、国際関係など複数の視点から捉えて、中国社会を理解することができます。よって、日中の新しい協力関係を模索する知的素養を身に付きます。							
JABEE							

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習